

OPEN CAMPUS 2022

第1回

6/19

日

第2回

8/7

日

2023年

第3回

3/25

土

内容 ●学部・学科説明 ●カリキュラム解説 ●学費・奨学金説明 ●入試ガイダンス ●個別面談

※日程や内容が変更になる場合があります。大学ホームページまたはLINE公式アカウントで最新の情報をご確認ください

ACCESS MAP

路線バスを利用する場合

■ JR川崎駅(西口)から【約10分】

59番乗場 臨港バス 川53「元住吉行(末吉橋経由)」または川57「末吉橋矢向循環外回り」

60番乗場 臨港バス 川51「鶴島駅行」

※JR南武線尻手駅「尻手駅前」乗場からも同様に乗車できます

♀「末吉橋」下車徒歩3分

■ JR新横浜駅(北口)から【約25分】

4番乗場 横浜市営バス 13「鶴見駅前行」

♀「末吉橋」下車徒歩3分

8番乗場 横浜市営バス 104「鶴見駅西口行」

♀「末吉」下車徒歩5分

■ 東急東横線鶴島駅(東口)から【約15分】

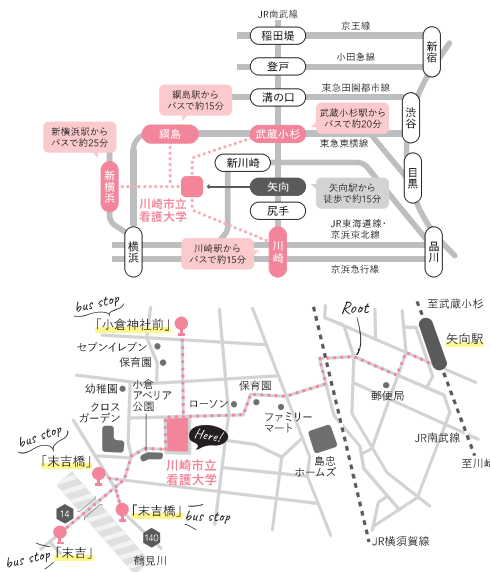
6番乗場 臨港バス 川51「川崎駅西口行」

♀「末吉橋」下車徒歩3分

■ 東急東横線武蔵小杉駅(東口)から【約25分】

1番乗場 臨港バス 川55「川崎駅西口行」

♀「小倉神社前」下車徒歩5分



川崎市立看護大学ホームページ

QRコードからホームページをチェック!

<https://www.kawasaki-cn.ac.jp>

川崎市立看護大学 LINE公式アカウント

教員紹介、入試、学費などの情報を配信しています

QRコードから、お友達登録よろしくお願いします



川崎市立看護大学
Kawasaki City College of Nursing

川崎市立看護大学

Kawasaki City College of Nursing

お問合せ先 入試担当

address 〒212-0054 川崎市幸区小倉4-30-1 tel 044 (587) 3500

e-mail 40kangos@city.kawasaki.jp fax 044 (587) 3506



看護大学はどこも一緒じゃない
ここにしかない、学びがある
大切なあなたを、大切に育てたい

あなたは、誰かのために働きたいと考えたことはありますか。
住み慣れた地域で人々が健康で豊かに暮らしていくために、
看護職の役割は広がり、その重要度はますます高まっています。
川崎市立看護大学は、そのような社会のニーズに応えるために
2022年4月に開学しました。あなたと誰かが輝くために、
本学で看護の学びをスタートさせませんか。

学長あいさつ

本学は「看護基礎教育における教育の質を高め、医療機関はもとより地域の様々な場で活躍することができ、地域包括ケアシステムに資する人材を養成し、地域社会における健康と福祉の向上に貢献する。」ことを目指して開学しました。

前身の看護短期大学の卒業生は、川崎市内をはじめ各地域の医療現場で活躍しており、本学は“先輩のいる”新設大学となります。

現在、看護専門職には、人々が住み慣れた地で自分らしい生活を送れるよう、医療・介護・予防等を充実させる「地域包括ケアシステム」を担う推進者としての役割が求められています。

皆様が、看護専門職に必要な知識や技術を学び、これからの看護を担うかけがえのない人として成長していくことを願い、教職員全員でサポートしていきます。



川崎市立看護大学長
坂元 昇

CONTENTS

- 03 本学の概要
 - 教育理念
 - 養成する人物像 | 教育目標
 - アドミッション・ポリシー
 - ディプロマ・ポリシー
- 05 本学での学び
 - 4年間の一貫教育
 - 学びのスタイル
 - カリキュラム
 - カリキュラム・ポリシー
- 07 科目ピックアップ
- 08 分野・領域別の学び
- 09 充実した実習環境
- 11 進路とキャリア
- 13 キャンパスライフ | サポート体制
- 14 学費 | 奨学金制度

大学の概要

こんな人材を育てたい

本学は1学年100人、全学年でも400人の小さな大学です。
 そんな本学で看護師を目指す学生は、未来に向けた大切な宝物です。
 本学ではその“小ささ”を生かして、教員と学生の距離を縮めてきめ細やかな指導を行い、
 未来への宝物を大切に育てます。

川崎市立看護大学 看護学部看護学科

定員	100名 [保健師コース30名(選抜制)]
取得できる資格	看護師国家試験受験資格 保健師国家試験受験資格

教育理念

社会で生活する人々に対する理解を深め、豊かな人間性と幅広い視野を持ち、科学的根拠と倫理観に基づいて思考し、問題に対応するための看護実践力を通し、地域社会における健康と福祉の向上に貢献できる人材を育成する。

養成する人物像 | 教育目標

- 1 多様な価値観を受け入れ、人に寄り添える幅広い教養と豊かな人間性を持った看護職者の育成
- 2 生命をいっしょに、高い倫理性をもってケアできる看護職者の育成
- 3 先見性、柔軟性、創造性を持ち、他者や多職種と協働できる看護職者の育成
- 4 科学的根拠と論理的思考に基づいて実践できる力を有した看護職者の育成
- 5 地域社会に貢献したいという意欲と能力を持ち、地域包括ケアシステムに資する看護職者の育成



アドミッション・ポリシー 〈入学受入方針〉

- 1) 大学で看護を学修するための基礎的学力が身についている人(基礎学力)
- 2) 人々の生活、環境に興味関心を持ち、命の尊厳と人の権利を重んじることができる人(倫理性・人の生活への関心)
- 3) 自らの可能性を信じ、課題に対して主体的に取り組む努力ができる人(自律と努力)
- 4) 多様な考え方を尊重するとともに、自らの考えを表現し、他者との関係性を築いていける人(コミュニケーションと協調)
- 5) 保健医療福祉に広く関心を持ち、自らの活動を通して地域社会に貢献したいという意欲がある人(地域愛と活動力)

ディプロマ・ポリシー 〈学位授与方針〉

川崎市立看護大学においては、以下のような資質・能力を身に付け、かつ所定の単位を修得した学生に、学士(看護学)を授与することとする。

- 1) 社会構造の変化を見据え、様々な年代、多様な人々の生活の維持・向上につながる支援を考案し実践できる社会人基礎力
- 2) 高い倫理性と科学的根拠に基づいた判断力を持ち、効率的・効果的に看護を実践できる力
- 3) 先見性、柔軟性、創造性を持ち、他者や多職種と協働して実践できる能力
- 4) 医療の高度化、生活様式や社会の多様化に対応し、看護の改善・発展に取り組むことができる専門職としての基礎力
- 5) 地域包括ケアシステムに資する意欲・知識・技術

副学長あいさつ

川崎市立看護大学は古くて新しい大学です。1964年に高等看護学院として生まれ1995年に短大となり約60年の看護教育の歴史を持っています。超高齢社会やコロナ禍を経験し、医療・保健・福祉そして地域社会に求められる看護というのは大きく変わってきています。本学では卒業後も生涯にわたって、看護を愛し、時代の変化に応え、実践して行くための自己学習力を持った看護師・保健師を育てていくことをめざしています。キーワードは「地域包括ケアシステム」を担う看護職の育成です。

地元の人々も教育に参加し(模擬患者)、素晴らしい教授陣がそろい、ICT環境の整った学習環境の中で、看護師のキャリアをスタートさせてください。新しい大学ですので、サークル活動も、大学祭(青朋祭)も皆さんが楽しく上げていくことになりますが、教職員が一生懸命サポートしていきます。皆様が、大学を訪れてくれることをお待ちしております。



川崎市立看護大学副学長
荒木田 美香子

入学試験について [令和5年度]

令和5年度入学試験を右記のとおり実施します。最新情報はホームページまたはLINE公式アカウント(裏表紙参照)をご確認ください。

入試種別	試験科目	募集定員
一般入試	前期	70名
	後期	5名
学校推薦型選抜	公募推薦	25名
社会人入試	面接、小論文	若干名

【お問合せ】 川崎市立看護大学 入試担当 TEL 044-587-3500 E-mail 40kangos@city.kawasaki.jp

本学での学び

4年間の一貫教育

看護の学びは、4年間で多くの知識と実践の集積が必要になります。

学生一人ひとりに確実に看護の力が身につくようカリキュラムを構成しています。

学びのスタイル

アクティブ・ラーニング

学生が主体的・能動的に取り組み、自ら考え行動できる力を養う授業を行います。ディスカッションやグループワークを行う空間「ラーニング・コモンズ」も活用します。



ICTを活用した学び

校内無線LANを整備し、タブレット端末などを活用した授業を行います。また、デジタル教科書、ナースング・スキルなどを導入し、どこでも学習ができる環境を整備します。



カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成・実施方針）

授業科目は、「人間理解の基礎」、「専門基礎」及び「専門」の3区分とする。

- 人間理解の基礎** は、「科学的思考の基礎」「環境と社会」「人間の理解」「語学」の4区分の科目を配置し、看護職としての専門的能力の基盤となる社会人基礎力を養う。
- 専門基礎** は、「人体の構造と機能」「疾病の成り立ちと回復の促進」「健康支援と社会保障制度」「健康現象の疫学と統計」の4区分の科目を配置し、倫理的及び科学的に看護を実践するための基礎となる力を養う。
- 専門** は、「基礎看護学技術」「地域・在宅看護論」「成人看護学」「老年看護学」「小児看護学」「母性看護学」「精神看護学」「看護の統合と実践」「公衆衛生看護学」「臨地実習」の各専門領域の科目を配置し、看護専門職としての基礎力や実践力、他者や多職種と協働する力を養う。

これら、
人間理解の基礎
専門基礎
専門
 の3区分を総合的に学ぶことにより、
 地域包括ケアシステムに資する
 意欲、知識、技術を養う。

カリキュラム（授業科目）

区分	領域	1年次	2年次	3年次	4年次	カリキュラム・ポリシー
人間理解の基礎	科学的思考の基礎	クリティカルシンキング ◆情報処理II ◆医療経営学	◆情報処理I ◆医療経営学			看護職としての専門的能力の基盤となる社会人基礎力を養う
	環境と社会	総合講義 サービスラーニング論I 川崎市の文化と科学 ◆比較文化論 ◆教育学	◆教育学 ◆サービスラーニングII			
	人間の理解	生涯発達論 臨床心理学 生活と人間工学 ◆健康科学I ◆健康科学II	◆健康科学II	キャリア論		
	語学	◆英語I ◆英語II ◆中国語I ◆中国語II	◆英語III ◆英語IV	◆医療英語		
専門基礎	人体の構造と機能	人体構造機能学I 人体構造機能学III 人体構造機能学II 人体構造機能学IV				倫理的及び科学的に看護を実践するための基礎となる力を養う
	疾病の成り立ちと回復の促進	代謝と栄養 感染と防御 病態生理学I	臨床薬理学 臨床検査学 病態生理学II 病態生理学IV 病態生理学III		臨床推論	
	健康支援と社会保障制度	公衆衛生学	保健医療福祉行政論 在宅医療の実践 救急医療の実践		保健医療福祉行政論II	
	健康現象の疫学と統計		疫学・保健統計I		疫学・保健統計II	
専門	基礎看護学技術	看護学原論 看護倫理学I 基礎看護学実習 看護コミュニケーション論I 基礎看護学技術II	基礎看護学技術I 基礎看護学技術III	基礎看護学技術IV 基礎看護学技術V 基礎看護学実習II	看護倫理学II 看護コミュニケーション論II	看護専門職としての基礎力や実践力、他者や多職種と協働する力を養う
	地域・在宅看護論	地域・在宅看護学概論	地域・在宅看護学方法論 地域・在宅看護学実習	地域包括ケア実践II	在宅看護学実習 統合地域包括ケア実習	
	成人看護学		成人看護学概論 成人看護学方法論I 成人看護学方法論II	成人看護学演習		
	老年看護学		老年看護学概論 老年看護学方法論	成人・老年看護学実習I 成人・老年看護学実習II	成人・老年看護学実習IV	
	小児看護学		発達と暮らしへの実習	老年看護学演習I 老年看護学演習II 老年看護学実習I	老年看護学実習III	
	母性看護学		小児看護学概論	小児看護学方法論 小児看護学実習I 小児看護学実習II		
	精神看護学		母性看護学概論	母性看護学演習 母性看護学実習I 母性看護学実習II		
	看護の統合と実践		精神看護学概論 精神看護学方法論	精神看護学演習 精神看護学実習I 精神看護学実習II		
	公衆衛生看護学		保健指導・健康教育論 災害看護学I 地域包括ケア実践I ◆家族看護学	看護研究法概説	看護マネジメント論 看護研究I 看護研究II 看護マネジメント実習 看護研究III ◆多職種連携実習	

Subject

特色あるカリキュラム

科目ピックアップ

看護をより深く理解するために、人間と生活について様々な観点から学び、豊かな人間性や感性を育みます。また、看護に重要な医学的・論理的思考力に加えて、技術を身につける科目が充実しています。さらに、健康になる地域、健康を守ることができる社会の仕組みと方法についても学びます。



▶ アクティブ・ラーニング科目



論理的思考を身に付ける授業

看護現場での多職種連携、医療事故の予防、看護研究で重要な論理的思考を身に付けるために、考え方の基本を学び、他者の意見を知り、まとめていくというプロセスを、グループワークやプレゼンテーションを通して学んでいきます。

▶ 地域を学ぶ科目



ゲストスピーカーによる講義

川崎市で働く看護師、保健師、職員が講師となり、地域包括ケアシステムや社会保障制度などに関する講義を行います。実際の現場からの声を通して、地域社会の課題などの理解を深めます。

教員メッセージ

“ 命を守る看護 ”

救急医療の現場では、一瞬の判断が命に直結します。「何を見て(観察)」「どう解釈するか(推論)」その力が求められます。看護師としての一歩を本学で踏み出してみませんか？



看護学部准教授
松田 有子

“ 地域での生活を支える看護 ”

人々が生活する地域では、予防から看護まで幅広い看護が求められています。最期まで住み慣れた地域で自分らしく生活したいという、人々の思いをかえなるための看護を一緒に考えましょう。



看護学部講師
田中 悠美

クリティカルシンキング

1年次

情報の意味や他者の意見を深く考え、自分自身や証合意を通じて、納得できる考えや判断を見出す技術を学びます。その技術を医療現場でどのように活用するのかについて、事例を通して学びます。



臨床推論

4年次

領域別実習が終了した後で、これまでに学んだ知識や体験を活用し事例検討(看護過程)を通して、エビデンス(根拠)に基づいて、今何が起きているか、適切なケアとは何かを判断する方法を実践的に学びます。



サービスマーケティング論

1~2年次

奉仕(サービス)と学習(ラーニング)を組み合わせた科目です。理念や方法などを学んだ後で、実際に社会貢献活動に参加し、看護の持っている力を地域に役立てていくための実践的な力を養います。



在宅医療の実際

2年次

高齢者などの医療の助けを必要とする人が、その人の自宅で生活し続けるために必要な医療や介護などの制度や、実際に行われている支援や活動を川崎市の事例を通して学びます。



看護ケア対象別の学び

分野・領域別の学び

本学では、「看護学の基礎・発展」の学びを土台に、3つの分野(機能看護学、ライフステージ看護学、地域・生活支援看護学)を学びます。8つの看護学領域別の講義や演習・実習を通して、専門的な知識や技術を身につけます。



▶ 看護学8つの領域



● 基礎看護学・管理学領域

看護の主要概念、役割、考え方、コミュニケーション、看護技術(生活行動を支える技術、安全・安楽に診療を受けてもらうための技術、身体診査を行うための技術)などを学びます。



● 精神看護学領域

乳児から老年まで全ての人の心の健康に焦点をあて、心を健康に保つための方法、心を病む人の理解、信頼関係を大切にしたい人々との関係づくり、社会復帰への支援などを学びます。



● 地域・在宅看護学領域

健康問題をかかえながらも、住み慣れた場所で暮らし続けたいというニーズに応えるため生活の場で行われる看護を、学内での講義や演習、保健所と訪問看護ステーションでの実習で学びます。



● 公衆衛生看護学領域

妊娠から産後まで、元気な人や障害を持つ人が、自らの意志に基づいて「地域でいづに生きる」ために個人・家族・グループ・組織を支援していくための知識と方法を学びます。保健所や地域まより支援センター、児童相談所、学校、企業等での実習をします。



● 成人看護学領域

成人を対象にした手術や救急医療(急性期・周手術期)、リハビリテーション(回復期)、生活習慣病の調整や健康増進(慢性期)、がん看護や緩和ケアなどを必要とする方への援助方法を学びます。



● 小児看護学領域

小児の成長や発達の特徴を理解し、健康レベルに応じた看護を学びます。家族と小児に適切な看護援助を行うための技術を習得し、保育園、病院、特別支援学校などで実習を行います。



● 母性看護学領域

母親と新生児の健康に生活するための看護を学びます。女性の身体や心の成長、母親になる女性に必要な援助などを学内での講義と実習や、病院での出産や新生児の看護、助産所での実習を通して学びます。



● 老年看護学領域

高齢者の加齢に伴う身体機能の低下、心理面や社会的役割の変化を理解し、その人らしさや意志を尊重しながら、健康と生活機能の維持・増進に向けた支援の知識や技術を学びます。

演習室

ベッドや医療シミュレーター(実習用モデル人形)を備えた基礎看護や成人・老年看護を行う演習室、母性看護に関する設備や乳児・幼児モデル人形を備えた母性・小児看護演習室、身体に障害をもった方の家庭での生活や援助が体験できる家庭看護演習室などがあります。

充実した実習環境

地域包括ケアシステムを担う 実践的な力を身につける

本学で学ぶ最大の魅力は、川崎市全域が学びのフィールドであること。
川崎市立病院を中心に100以上の施設での実習が可能です。
公立大学だから実現できた多彩な実習先で、
地域で活躍するために必要な看護実践能力を、
幅広い経験を通して磨きます。

地域包括ケアシステムとは...

川崎市では「全ての地域住民」を対象とし、「誰もが住み慣れた地域や自らが望む場で安心して暮らし続けることができる地域の実現」に向けて、「地域の包括的な支援・サービス提供体制（地域包括ケアシステム）の構築を目指しています。」



Point.03

保健師コースの実習先も充実

保健所を中心に、企業、学校、児童相談所等での実習を行います。

対象科目 ● 「公衆衛生看護学実習Ⅲ、Ⅳ」(4年次) など



Point.04

選択実習でプラスアルファの学び

興味があり深めたい分野や専門性の高い現場など、選択制での実習が可能です。チームでより良いケアを提供する「多職種連携」などを学びます。

対象科目 ● 「成人・老年看護学実習Ⅳ」(4年次)
● 「老年看護学実習Ⅱ」(4年次)
● 「多職種連携実習」(4年次) など

- その他の実習先
- 川崎市内地域包括支援センター 13カ所
 - 川崎市介護老人保健施設 7カ所
 - 川崎市市内訪問看護ステーション 13カ所 他

Point.01

川崎市内での病院実習

3つの市立病院(川崎市立川崎病院、川崎市立井田病院、川崎市立多摩病院)に加え、市内の医療機関で実習を行います。先輩たちも多く働く環境で、将来の自分をイメージしながら、看護の実践力を身につけます。

対象科目 ● 「病院実習」(1~4年次)



Point.02

地域、在宅で療養する方の ケアを学ぶ

地域包括支援センターや訪問看護ステーション、特別支援学校など、地域、在宅で療養する方のケアを学びます。

対象科目 ● 「総合地域包括ケア実習」(4年次)
● 「小児看護学実習Ⅱ」(3年次) など



実習のステップ

- | | | | |
|------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1年次(1単位) | 2年次(3単位) | 3年次(12単位) | 4年次(7単位) |
| <input checked="" type="checkbox"/> 病院実習 | <input checked="" type="checkbox"/> 病院実習
<input checked="" type="checkbox"/> 保育園の乳幼児との触れ合い
<input checked="" type="checkbox"/> 地域高齢者の集い | <input checked="" type="checkbox"/> 病院実習
<input checked="" type="checkbox"/> 療育施設
<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者保健施設
<small>(医療科→) 保健所</small> | <input checked="" type="checkbox"/> 助産所
<input checked="" type="checkbox"/> デイケア施設
<input checked="" type="checkbox"/> 病院実習
<input checked="" type="checkbox"/> 訪問看護ステーション
<input checked="" type="checkbox"/> 地域包括支援センター
<small>(医療科→) 保健所・児童相談所・学校・企業</small> |

「ありがとう」と言われる場は 広がり続けている



進路とキャリア

看護師の活躍の場は、病院はもちろんのこと、保育園や幼稚園、高齢者、障害者のための施設や、訪問看護ステーションや介護・福祉との複合施設、行政の保健師など、広がっています。本学では、時代の変化に対応し、どんなところでも活躍できる“求められる”人材を養成します。

▶ ロールモデル(将来像)

model / 01 / Aさんの場合

川崎市の病院に勤務する
看護師 卒業後5年目

現在のポジション

ICUに所属
新人教育担当

将来のビジョン

看護管理者、看護教育にも
関わる



ICU(Intensive Care Unit)に配属され、手術後の患者様等、集中治療が必要な患者が入ってくる超急性期の看護を経験。5年目になって、新人の教育担当として人を指導する立場になり、今まで以上に勉強をしています。

model / 02 / Bさんの場合

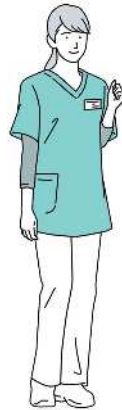
川崎市の病院に勤務する
看護師 卒業後4年目

現在のポジション

緩和ケア病棟に所属

将来のビジョン

内科病棟など
多くの現場を経験する



患者様とご家族の心に寄り添うという事の難しさを痛感しながら、頑張っています。内科病棟に異動希望を出しています。緩和ケア病棟に来る前の患者や家族のことをもっと知りたいと思っています。

model / 03 / Cさんの場合

訪問看護ステーションの
看護師 卒業後7年目

現在のポジション

訪問看護ステーションに
勤務

将来のビジョン

在宅看護の専門看護師



内科を3年、外科を2年経験しました。現在は、患者さんのお宅を訪問してケアを行っています。病院では見せない穏やかな表情をされているのに驚きました。ご自宅で療養できて安心されるのです。

model / 04 / Dさんの場合

地方自治体の保健師
卒業後8年目

現在のポジション

人口8千人の地区を担当

将来のビジョン

大学院へ進学し、
専門性を高める



民生委員さんと一人暮らしの高齢者の情報交換、地域での健康教育活動など、仕事は多岐に渡ります。今後、地域情報の分析、統計などの研究のため夜間で学べる大学院に進学し、仕事と学問の両立を目指しています。

サポート体制

学生一人ひとりの将来の夢の実現のため全力でサポートします。

■ 進路指導ガイダンス

就職及び進学については、学生が主体的に取り組み、適切な選択・決定ができるように教職員全員がサポートしています。「キャリア論」を学ぶと共に進路指導のガイダンスにも参加できます。



■ 国家試験対策

全員合格(合格率100%)を目標に指導にあたります。学年担任制による個別指導や学生間のグループ勉強会を実施しています。



■ 就職・進学コーナー

各施設の本フレット、その他進路に関する資料を自由に閲覧できるようになっています。



■ 卒業生による講演

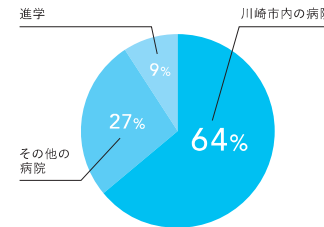
医療機関や自治体などで働く看護師や保健師を招いて、現場での取り組みなどについてお話しいただく機会を設けています。



就職・進学実績

[2020年度短期大学実績]

川崎市立病院、近接する横浜市や東京都にある医療機関等に就職しています。



主な就職実績

川崎市立川崎病院、川崎市立井田病院、川崎市立多摩病院、聖マリアンナ医科大学東横病院、日本医科大学武蔵小杉病院、川崎幸病院、虎の門病院、神奈川県立こども医療センター、横浜市立大学附属病院 など

主な進学実績

神奈川県立衛生看護専門学校助産師学科、母子保健研修センター助産師学校助産師学科、日本赤十字社助産師学校、埼玉県立大学保健医療福祉学部看護学科 など

Campus Life キャンパスライフ

“充実した4年間が始まります”

授業や実習で忙しい毎日ですが、
学生時代でしか得られない出会いや体験もたくさんあります。



1年生の1日

▶▶▶ 通学

約半数の学生が電車と路線バスを利用しています。自転車やバイクの利用も可能です。

AM	1限	8:50-10:30
	2限	10:40-12:20

昼休み		
PM	3限	13:10-14:50
	4限	15:00-16:40



▶▶▶ 授業

1限(1コマ)は100分授業。午前と午後、2コマずつの授業を集中して学びます。



▶▶▶ 放課後

▶▶▶ サークル活動

ダンスなどの体育系、軽音楽などの文化系、「川崎メディックス」などボランティアサークルも盛んに活動しています。



▶▶▶ アルバイト

1~2年生の約半数がアルバイトをしています。社会経験のひとつとして、学業との両立を図っています。



▶▶▶ 自習(図書館)

図書館は、放課後の自習にも活用できます。また、自宅からも図書館の図書検索ができます。



▶▶▶ ラーニング・コモンズ

気軽に集まれるフリースペース。ホワイトボードやプロジェクターを完備し、グループワークやミーティングなど自由に使えます。



▶▶▶ ランチ

各自でお弁当を持参し、休憩スペースや教室で食べます。キャンパス近くには、コンビニや飲食店もあります。



サポート体制

本学の教職員全員が学生生活を全面的にサポートします。

学年担任制

各学年を6~7名の教員が分担して担当します。1~2年次では、早期に学生生活に適応し円滑に学習が継続できるように、3~4年次では、就職活動や国家試験など“あなたの担任”が様々な相談にあたります。



健康管理

定期健康診断の実施、希望者には校医による健康相談、カウンセラーによる学生相談(希望者に毎週1回)を行っています。



健康相談室(保健室)

看護師が月~金曜に在室し、ケガの処置や心身の健康相談、予防接種の相談などを行います。必要に応じて校医やカウンセラーへの連携も行います。



学費

川崎市は、地域社会に貢献できる人材の育成に努めているため、他の養成機関と比べ学費の負担が少なくなっています。

	1年次	2年次	3年次	4年次	備考
入学金	川崎市の住民 ▶	141,000円			川崎市の住民とは、本人、その配偶者、1親等の親族のいずれかが、入学する前年の4月1日以前から引き続き川崎市内に住所を有する人
	上記以外 ▶	282,000円			
授業料	535,800円	535,800円	535,800円	535,800円	4月・10月の分納 改訂する場合があります。

	1年次	2~4年次	
合計	川崎市の住民	676,800円	2,284,200円 / 4年間計
	上記以外	817,800円	535,800円 / 各年次 2,425,200円 / 4年間計

※上記以外に諸経費(テキスト代、タブレット端末使用料、実習着代など)がかかります

奨学金制度

[奨学金・給付金・修学資金]

本学独自や日本学生支援機構などの奨学金制度があります。また、神奈川県、川崎市の修学資金制度があり、経済的支援を行っています。

■ 本学の奨学金制度

川崎市立看護大学待生制度	
対象者	入試における成績優秀者(5名程度)
特待内容	入学科および2年間の授業料免除
奨学金制度(給付型)	
対象者	3~4年次で、2年次の成績優秀であり、卒業後に市内の医療機関等に就職する者(各学年10名程度)
貸与額	月額 50,000円 ※市内の医療機関等に就職し、一定期間従事することで返済が免除になります
奨学金制度(貸与型)	
対象者	卒業後、市内の医療機関等に就職する者(各学年10名程度)
貸与額	月額 10,000~50,000円(選択制) ※市内医療機関等に就職することで無利子返済になります

■ その他の奨学金制度

日本学生支援機構奨学金	
01 第一種奨学金(無利子)	下記の種類から選択
	自宅 自宅外
貸与額 / 月額	20,000円 20,000円
	30,000円 30,000円
	45,000円 45,000円
	51,000円
02 第二種奨学金(有利子)	
貸与額 / 月額	20,000円から120,000円まで 10,000円単位で選択
川崎市弘済会奨学金(給付)	給付額 / 月額 20,000円
■ 修学資金	
神奈川県看護師等修学資金(無利子)	貸与額 / 月額 一般 17,000円 特別 40,000円※ ※住居税控除等の特典等があります
川崎市看護師等修学資金(無利子)	貸与額 / 月額 32,000円